

# 広報あびこ

## 平和都市宣言

昭和60(1985)年12月3日制定

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

11月

平成25年  
(2013年)

1日



市ホームページアドレス <http://www.city.abiko.chiba.jp/> 携帯サイト <http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>  
編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子 1858 番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-0127 No.1344 (毎月1日・16日発行)

# 台風26号により市内に大きな被害



▲通行止めになった都交差点付近 (10月16日12時56分撮影)



▲水に浸かるバス・布佐1丁目 (10月16日12時2分撮影)



▲ボートで避難する市民・布佐 (10月16日10時40分ごろ撮影)

台風26号による大雨は、降り始めからの雨量が280mm(10月15日～16日近隣センターふさの風)を記録し、市内でも布佐地区と若松地区などに約380世帯の床上・床下浸水の被害が発生しました。  
☎ 市民安全課・内線217、295

## 台風26号の大雨により被害に遭われた皆さまへ

我孫子市長 星野 順一郎

台風26号の大雨により被害に遭われた皆さまには、心からお見舞い申し上げます。先月15日から16日にかけて降り続いた大雨は市内にも大きな被害をもたらしました。市では、台風の接近前に災害警戒本部を設置し、職員を配置するなど対応に当たりましたが、布佐地区や若松地区などにおいて約380世帯の床上・床下浸水の被害が発生しました。特に、布佐地区の一部では、1000人近い住民をボートで救出する事態となりました。市民の皆さんが安心して暮らせるよう、今後引き続き、布佐ポンプ場の築造をはじめとした市内の被害対策を推進します。また、被害に遭われた皆さまが一日も早く元の生活に戻れるよう、全力をあげて復旧に取り組みます。



▲冠水する道路・都 (10月16日12時38分撮影)



右上：浸水被害・若松地区 (10月16日14時8分撮影)

左上：浸水被害・若松地区 (10月16日14時2分撮影)

右下：冠水する道路・新々田 (10月16日11時6分撮影)

被害に遭われた方への支援制度のお知らせや被害状況、市の対応など詳しくは2面でお知らせします。



## 市政ふれあい懇談会

ご意見をお聞かせください

市では、市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、「市政ふれあい懇談会」を市内各地区で開催します。今回は、台風26号による被害への対応、26年度に実施する主な事業や放射能対策総合計画の見直しなどについて説明しながら、市長が皆さんと意見交換を行います。

申し込み 不要 (直接会場へ)

☎ 秘書広報課 ☎7185-1714

日時	場所
11月 9日(土)	10時～12時 布佐南近隣センター
	14時～16時 湖北台近隣センター
11月16日(土)	10時～12時 我孫子北近隣センター並木本館
11月17日(日)	10時～12時 新木近隣センター
	14時～16時 近隣センターこもれび

台風26号の被害に関する相談ダイヤルを設置しています。 ☎ 被災者相談窓口 (市民安全課内) ☎7185-1843 (平日午前8時30分～午後5時)